



羽村市立栄小学校
学校だよりNO. 7
令和7年9月26日
校長 棗 まゆみ

結果を生かして

校長 棗 まゆみ

今年は残暑が厳しく、外での活動ができないことも多かったですが、涼しい日も少しずつ増え、元気に校庭で体を動かす子供たちの姿がみられるようになりました。10月18日（土）の運動会に向けて、子供たちは踊りや、走る練習を頑張っています。今年も熱中症等対策として、午前中のみの実施とし、児童席には遮光ネットを設置する予定です。保護者・地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

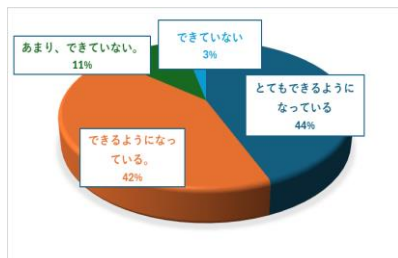
さて、今年も一学期末に児童アンケート（中間）を実施しました。この児童アンケートは、学校評価として、教育目標の達成に向けた重点となる具体的な取組の成果を図る目的で実施しています。その中の1つを紹介します。

「家庭学習がだんだんと取り組めるようになっていく」

児童の肯定的な回答は86%で、昨年度より1%プラスとなりました。一学期

は、高学年の自主学習ノートの取組や、7月の家庭学習ウィーク、学校の学習内容と家庭学習の連携等を行ってきました。2学期も、10月27日から2回目の家庭学習ウィークを実施する予定です。学校で学んだことについて、時間をあけずに家庭でも繰り返し学ぶことで、学習内容を忘れず、定着させることができます。また、取り組む時間帯や自主学習の内容については、ぜひ、ご家庭で話し合ってください。子供自身が納得して取り組むことが大事です。そして、できたら、たくさんほめてあげてください。自分で決め、粘り強く取り組める力を付けてほしいと思います。学習しやすい環境づくりも、ご協力をよろしくお願いいたします。

他の項目の結果については、ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。



また、令和7年度全国学力・学習状況調査結果が夏休みに学校に届きました。6年生を対象に4月に国語・算数・理科で実施された調査です。栄小では、結果から傾向等の分析を行い、改善策を検討しました。各教科で都との正答率の差が大きかった問題は以下の通りです。

<国語>

「読むこと」

●【話し合いの記録】の書き表し方を説明したものとして適切なものを選択する。(知識・技能)

<算数>

「数と計算」「測定」「変化と関係」「データの活用」

●10%増量したつめかえ用のハンドソープの内容量が、増量前の何倍かを選ぶ。

(思考・判断・表現)

<理科>

「生命」を柱とする領域

●海にある氷がとけることについて、水が氷に変わる温度を根拠に予想しているものを選ぶ。

(思考・判断・表現)

<結果から考えた改善策>

・国語…事実と意見を区別して書く習慣を付けられるよう、朝の時間や国語の授業の中でできる指導を充実させていきます。

・算数…5年生までの既習事項についても学び直しができるように、計算タイムや計算ドリル検定等、自分で選択して学べる・復習できる機会を充実させていきます。

・理科…根拠をもとに予想し、表現することができるよう、実験等の学習を充実させていきます。

栄小では、結果から分析し、検討したことを授業改善・指導改善に生かし、子供たちの力を伸ばせるように教育活動を進めていきます。

ご家庭でも、日常生活の中にある学びにつながる場面での声掛けや、それにつながる会話を、ぜひ楽しんでみてください。

